

平成 23 年度

決算 6 会計を認定

経常収支比率の推移



※ 経常収支比率の見方は 6 ページを御覧下さい

決算特別委員会において、平成23年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額259億4590万円、歳出総額250億4294万円とし、歳入歳出差引額は、9億296万円で、うち5億円は基金に繰り入れます。

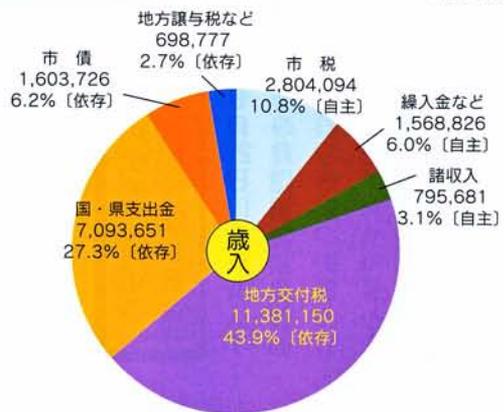
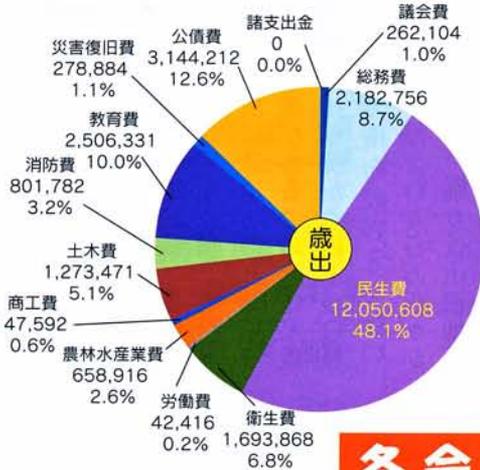
市の財政状況としては、市税などの自主財源が19.7%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が80.3%と、他に頼った自治体運営となっております。

経常収支比率は、94.2%と前年度より向上しましたが、財政力指数は0.259ポイントと、前年度より若干悪化した結果となりました。

審査の結果、6会計ともに認定されました。

一般会計決算の状況

(単位千円)



各会計の決算額

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	259億4,590万円	250億4,294万円	9億 296万円	
国民健康保険事業特別会計	52億9,391万円	56億1,010万円	△3億1,619万円	
後期高齢者医療特別会計	5億7,097万円	5億5,491万円	1,606万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億 235万円	8,848万円	1,387万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	54億4,026万円	54億1,436万円	2,590万円
	サービス事業勘定	5,101万円	5,101万円	0
水道事業会計	8億4,223万円	9億4,032万円	△9,809万円	